消防岩手

定価　１部60円

－発行所－
（公財）岩手県消防協会
郵便番号　020-0021
盛岡市中央通３丁目
７番22号
電話　019（654）3991
FAX　019（654）3992
E-mail：isk@iwate-shokyo.jp
https://iwate-shokyo.jp/

印刷所
盛岡市本町通２丁目
河北印刷株式会社

「令和二年度全国統一防火標語」
その火事を　防ぐあなたに　金メダル
［この機関紙は、日本消防協会からの援助により発行しているものです］

▲「飛来する白鳥と姫神山」　撮影者：滝沢市在住　畠山　昇氏

年頭の挨拶

岩手県知事　達　増　拓　也

令和三年の新春を迎え、公益財団法人岩手県消防協会の会員の皆様に年頭の御挨拶を申し上げます。

貴協会、消防職員及び消防団員の皆様におかれましては、日頃から、地域の安全・安心の確保のために多大な御貢献をいただいており、心から敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、救急業務に携わる消防職員を始めとして、地域の防火活動に御尽力いただいております皆様に、重ねて深く敬意を表します。

近年、地球温暖化の進行等に伴い、災害の態様も複雑多様化し、全国各地で大規模な自然災害が相次いで発生しており、昨年の令和二年七月豪雨のように、九州、中部、東北地方など、全国各地に広範囲にわたって大きな被害をもたらす災害も発生しております。

火災現場だけではなく、こうした自然災害時においても、消防の役割が今まで以上に求められる中、地元の消防職員、消防団員の皆様におかれましては、多くの人命や財産を守るため、懸命な活動をされているところであり、安全で安心して暮らせる社会の実現を願う県民の消防に寄せる期待は、一層大きいものとなっております。

県では令和元年度からスタートした「いわて県民計画（二〇一九～二〇二八）」において、「自助、共助、公助による防災体制づくり」を掲げ、県民一人ひとりの防災意識の向上、自主防災組織や消防団などの地域コミュニティの防災力の強化など様々な取組を進めています。

その中でも、地域に密着し、災害が発生した場合に即時に対応ができ、地域防災力の中核的な役割を果たす重要な存在である消防団の加入促進を図るため、「いわて消防団応援の店登録事業」を推進するとともに、今年度創設した「消防団員確保対策費補助金」により、市町村が行う、消防団員の加入促進のＰＲや機能別消防団員制度の導入、女性消防団員が活躍しやすい環境の整備、団員活動の負担軽減や充実強化のための装備品の整備などの取組を支援していきますので、皆様には今後ともなお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が災害のない希望に満ちた一年となりますこと、また、公益財団法人岩手県消防協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶

（公財）岩手県消防協会
会長
山　下　修　治

令和三年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

消防職員、消防団員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災をはじめあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務にご精励されておりますことに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応等広範囲にわたり、様々な場面で地域住民の安全・安心の確保に大きな役割を果たしているところであります。

しかしながら、一向に減ることのない火災や自然災害に対し、地域住民の防災への意識も高まり、消防への期待もますます大きなものとなっております。

あの東日本大震災から十年という節目の年を迎えますが、その間も、地震や台風、局地的な豪雨など本県をはじめ全国各地で大規模な自然災害が相次いで発生して、甚大な被害をもたらしております。

このような中、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から消防団行事や訓練などが相次いで縮小あるいは中止を余儀なくされており、消防団員の士気や技術の維持向上への影響などを憂慮しているところであります。

私ども消防団は、地域防災力の充実強化をより一層推進するため、更に団結を強固にし、消防防災体制づくりに邁進しなければならないと考えております。

当協会といたしましては、消防職員、消防団員の福利厚生事業の充実を図りつつ、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の安全・安心の確保のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

どうか皆様におかれましても、心新たに安全で安心な地域づくりのため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、今年一年が、災害のない平穏で素晴らしい年でありますようご祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

「新たな災害環境」への対応

―新春のごあいさつ―

（公財）日本消防協会
会長
秋　本　敏　文

新年おめでとうございます。火災・自然災害が相次ぐだけでなく新型コロナウィルス感染症が大きな問題となるなど、大変ご苦労が多いなかの新年ですので、心の中は穏やかでないものがございますが、新しい年をよい年とするよう、気持を新たにしてまいりたいと存じます。そのようななかで、常日頃、地域の皆さんの安全確保のためご尽力頂いている岩手県消防の皆様に心から感謝申しあげ、敬意を表します。

今年は東日本大震災から十年を迎えます。あの時の事は皆様まだいろいろと思い出されるでしょうし、今もなお、防災対策、復旧復興にご尽力されていることと存じます。その後も台風による被害、山火事発生などいろいろありました。あらためて、心からお見舞い申し上げ、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます。

東日本大震災後、特に近年は、これまでの常識をはるかに超える大規模な、複雑な災害が発生しています。災害の様相が変わっています。そして、人口減少、少子高齢化など社会の様子も変わってまいりました。私は最近、「新たな災害環境」を迎えており、そのことを正面から受けとめて対応しなければなりませんと申し上げています。そこで重要なのは、常備消防、消防団など関係機関のそれぞれの体制を強化するとともに、巾広い消防防災関係者、これには、行政関係の方々は勿論、学者研究者、関係メーカー、情報関係者、各種企業・団体など巾広い関係の方々の、いわば総参加、総連携、総活躍が必要でしょうし、そのためにはこのような皆様方の連携協力推進の場も必要でしょう。

そして、災害発生現場の実情に応じ、地域の皆様のそれぞれの事情に応じながら必要な行動を展開し、被害を最小限に抑えるためには、それぞれの地域の対応が重要です。防災の原点は「地域」です。そこでは、地域の皆様とさまざまな防災関係機関との連携を密接にしながら、地域の皆様の総参加、総活躍を進めなければなりません。その場合、地域と密接につながっている消防機関の存在は極めて大きいと思われます。

今、日本消防協会では、新しい消防会館の建設を進めておりますが、この新会館は、このような巾広い総力結集による消防防災体制の充実強化のためのお役に立つものにしなければならないと考えております。

最後に県内の無事平穏、岩手県消防の皆様のご健勝ご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭の辞

総務省消防庁
長官
横　田　真　二

令和三年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様方には、平素から消防防災活動や消防関係団体業務などに御尽力いただいており、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルスが感染拡大する中、救急隊員をはじめ消防職団員の皆様には、感染の危険を顧みず最前線で御尽力をいただき、重ねて感謝申し上げます。

昨年は、七月豪雨や台風による自然災害に見舞われ、多くの方々が犠牲になりました。

お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

災害現場においては、被災地の消防本部や地元消防団はもとより、被災状況により県内消防応援隊や緊急消防援助隊も総力を挙げて救急・救助活動等に当たっていただき、多くの人命を救助していただきました。改めて皆さんの御活躍・御尽力に敬意を表しますとともに、心から御礼申し上げます。

年々激しさを増す風水害や、今後発生が危惧される首都直下地震、南海トラフ地震の大規模災害に備え、消防庁では、国民の皆様が引き続き安心して暮らせるように、緊急消防援助隊及び常備消防力の充実強化をはじめ、地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の更なる充実強化、火災予防対策の推進、消防防災分野における女性の活躍促進、防災情報の伝達体制の整備など、消防防災行政の一層の推進に取り組んでまいります。とりわけ、消防団員の処遇改善については、団員の報酬や出動手当の額の引上げを要請するとともに、検討会を立ち上げ、精力的に取り組んでまいります。

また、消防防災分野におけるデジタル化・スマート化を進め、大規模災害時における情報収集の効率化や各種手続きの電子化を図ることで、自治体の消防防災業務の合理化・効率化及び国民の皆様の各種申請の簡素化を推し進めてまいります。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が延期となりましたが、本年の開催に向けて安心・安全対策に引き続き取り組み、消防・救急体制を万全に整えてまいります。皆様方におかれましては、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりとそれを支える我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展のため、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

年頭の御挨拶

岩手県消防長会
会長
石　井　健　治

令和三年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方には、火災をはじめとする各種の災害から地域住民の安全・安心を確保するため、昼夜を問わず献身的に御尽力されておりますことに、衷心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年は、新たな災害とも言えます新型コロナウイルス感染症が全世界規模で猛威を振るい、一月に日本国内においても最初の感染者が確認されてからというもの、当初は感染確認者ゼロを保っておりました岩手県内におきましても各地でクラスターが発生するなど、今や新型コロナウイルスは、誰が感染しても不思議ではないものとなりました。

このような状況の中、７月上旬には梅雨前線が長期間にわたって停滞し、西日本から東日本にかけての広い範囲で記録的な大雨となりました令和２年７月豪雨による災害など、全国各地で住民の生活を脅かす大きな災害が発生しており、安全・安心に対する住民の関心が高まるなか、我々消防に寄せられる期待は、ますます大きくなっております。

また、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模災害を見据えた緊急消防援助隊の充実強化や地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化、防火対象物及び危険物施設の火災予防対策、消防防災分野における女性消防職・団員の更なる活躍推進、消防団への大学生等の加入促進など、様々な対応が求められている状況であります。

私達消防に携わる者といたしましては、これらの地域住民の信頼と負託に応えるためにも、これまで以上に迅速かつ的確な災害対応を可能とする広域的な応援体制の整備のほか、昨年から本年に開催が延期となりました東京２０２０オリンピック・パラリンピックでのテロ災害等への備えなど、あらゆる災害に即応できる消防防災体制の充実を図る必要があります。

皆様方におかれましては、県民が安心して安全に暮らせる災害のない街づくりのため、誇り高い消防の使命のもとに、引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人岩手県消防協会の益々の御発展と皆様方の御健勝と御多幸、そして、本年が災害のない平穏無事な一年となりますことを心から祈念申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。

令和二年秋の叙勲（消防関係者）受章者

〔発令日：令和二年十一月三日〕

令和二年秋の叙勲（消防関係）受章者は、六二二名の方々が受章されました。

受章者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。栄えある受章誠におめでとうございます。

なお、伝達式は新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から中止されました。

【本県受章者（二六名）】

瑞宝双光章

佐藤一博（元住田町消防団団長）
三崎松一（元一戸町消防団団長）
山舘松五郎（元軽米町消防団団長）

瑞宝単光章

青木哲（元水沢市消防団分団長）
阿部保夫（元平泉町消防団分団長）
荒谷善正（元二戸市消防団団長）
伊藤弘志（元川崎村消防団分団長）
遠藤清春（元一関市消防団分団長）
大倉輝一（元新里村消防団分団長）
太田憲一郎（元宮古市消防団分団長）
小田中光雄（元紫波町消防団副団長）
加藤潔（元雫石町消防団副団長）
上舘忠彦（元宮古市消防団副分団長）
小澤一武（元洋野町消防団分団長）
佐々木朝男（元住田町消防団団長）
佐々木貞夫（元大槌町消防団副分団長）
佐藤誠（元金ケ崎町消防団分団長）
佐藤幸男（元一関市消防団分団長）
滝浦重美（元紫波町消防団副団長）
羽賀永己（元一関市消防団分団長）
八京俊一（元西和賀町消防団副分団長）

旭日双光章

千葉とき子（県婦人消防連絡協議会会長）
藤舘政義（元花巻市消防団団長）
堀合一男（元雫石町消防団副団長）
松浦征美（元西根町消防団分団長）
吉田典（元住田町消防団団長）

第三十五回危険業務従事者叙勲（消防関係者）受章者

〔発令日：令和二年十一月三日〕

第三十五回危険業務従事者叙勲（消防関係）受賞者は、六三一名の方々が受章されました。

受章者は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

栄えある受章誠におめでとうございます。

なお、伝達式は新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から中止されました。

【本県受章者（八名）】

瑞宝双光章

菅原清一（元一関市消防監）
瀬川泰正（元花巻市消防監）
高橋洋（元奥州金ケ崎行政事務組合消防司令長）
舘澤和雄（元盛岡地区広域消防組合消防司令長）
千田忠男（元奥州金ケ崎行政事務組合消防司令長）

瑞宝単光章

藤森正芳（元久慈地区広域行政事務組合消防司令）
村田信雄（元盛岡地区広域消防組合消防司令）
山口幸雄（元花巻市消防司令）

第六十二回　岩手県民の警察官・消防職団員表彰

北上市消防団　髙橋富雄　分団長が受章される

読売新聞盛岡支局とテレビ岩手の主催による第六十二回「岩手県民の警察官・消防職団員」表彰式が去る十一月十九日（木）午後一時三十分から盛岡市松尾町の盛岡劇場メインホールにおいて挙行されました。

本年度の「県民の警察官表彰」には、北上警察署二子駐在所神林聡巡査部長が、「県民の消防職団員表彰」には、北上市消防団髙橋富雄分団長が受章の栄に浴されました。

賞状を受け取る髙橋分団長

表彰式は、選考委員長から選考経過が報告され、来賓祝辞、主催者挨拶の後、受章者それぞれに対して表彰状及び記章が贈呈されました。

記念品贈呈

謝辞を述べる髙橋分団長

髙橋富雄氏の主な功績内容

旧江釣子村消防団に入団以来、各種消防行事には欠かさず参加し、団員の士気や団結力を高めている。二〇〇八年に部長に就任すると、分団の自主訓練を企画して積極的に指導にあたり、後進の育成に大きな成果をあげるとともに、火災防御体制の確立に尽力した。現在は北上市中心地域を統括する大隊長として、消防団発展のため活動している。

二〇〇六年九月五日未明、和賀町で発生した産業廃棄物処理施設の大規模火災では、ダイオキシンを含む黒煙が立ち込め、周辺には水利が乏しいという厳しい状況に遭遇した。後方支援隊として七〇〇メートル超の遠距離送水の中継を担当。団員を統率し、業務の交代体制を取り入れて疲労軽減を図りつつ、送水を続けて火災の鎮圧に多大な貢献をした。

常に団員の安全に気を配り、負傷者を出さず活動を遂行したことは、消防団活動の模範として高く評価されている。

長年にわたり自治会の会計役、地域の環境保全会の役員を務め、多岐にわたる献身的な活動で地域振興にも寄与。また、柔道四段で、北上市柔道協会、北上地区柔道協会の理事を長年務め、地域の柔道振興にも努めている。柔和な人柄で責任感が強く、住民からの信頼も厚い。

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

（公財）岩手県消防協会

会長	宮古市消防団長　山下　修治
副会長	北上市消防団長　菊池　一人
業務執行理事	盛岡市消防団長　雫石　眞一
〃	一関市消防団長　佐藤　隆士
〃	二戸市消防団長　新畑　鉄男
〃	奥州市消防団長　小原　勝喜
消防団長	盛岡市消防団長　雫石　眞一
〃	宮古市消防団長　山下　修治
〃	大船渡市消防団長　猪股　拓也
〃	花巻市消防団長　鎌田　幸也
〃	北上市消防団長　菊池　一人
〃	久慈市消防団長　廣崎　康一
〃	遠野市消防団長　松田　克之
〃	一関市消防団長　佐藤　隆士
〃	陸前高田市消防団長　河野　吉昭
〃	釜石市消防団長　山崎　長榮
〃	二戸市消防団長　新畑　鉄男
〃	八幡平市消防団長　工藤　民一
〃	奥州市消防団長　小原　勝喜
〃	滝沢市消防団長　柳村　明
〃	雫石町消防団長　上中屋敷俊彦
〃	葛巻町消防団長　橋本　秀雄
〃	岩手町消防団長　松村　昭一
〃	紫波町消防団長　阿部　秀夫
〃	矢巾町消防団長　谷村　謙一
〃	西和賀町消防団長　赤石　昭
〃	金ケ崎町消防団長　千葉　正男
〃	平泉町消防団長　千葉　勇夫
〃	住田町消防団長　佐藤　清司
〃	大槌町消防団長　越田　政美
消防団長	山田町消防団長　内舘　秋雄
〃	岩泉町消防団長　八重樫芳令
〃	田野畑村消防団長　上村　繁幸
〃	普代村消防団長　三船　隆久
〃	軽米町消防団長　小野寺祐治
〃	野田村消防団長　弐又　文雄
〃	九戸村消防団長　山本　篤
〃	洋野町消防団長　明戸　実
消防長	盛岡地区広域消防組合消防長　石井　健治
〃	一戸町消防団長　澤尻　義信
〃	宮古地区広域行政組合消防長　小林　達広
〃	一関市消防長　菊地　和哉
〃	釜石大槌地区行政事務組合消防長　金野　裕之
〃	奥州金ケ崎行政事務組合消防長　及川　健
〃	久慈広域連合消防長　大粒来輝行
〃	花巻市消防長　笹間　利美
〃	北上地区消防組合消防長　菊池　洋幸
〃	大船渡地区消防組合消防長　大久保守正
〃	遠野市消防長　三松　丈宏
〃	陸前高田市消防長　戸羽　進
〃	二戸地区広域行政事務組合消防長　長興寺一弘

営業品目

シバウラ小型消防ポンプ、ニッキ消防自動車
ホース乾燥塔　NAホスポール
操法用ホース販売、各種消防用機材及被服

県知事許可（般−27）第6269号

有限会社 文林商会

代表取締役　吉田 良一

本　社／一関市滝沢字鶴ケ沢７−59
TEL　0191−21−1119（代）

盛岡営業所／盛岡市好摩字夏間木83−122
TEL　019−682−0800

三陸営業所／上閉伊郡大槌町上町2−12
TEL　0193−42−8090

営業品目

日本機械消防自動車　トーハツ小型消防ポンプ
ジェットホース　ジェットシューター
各種消防用被服　消防団員袢纏　FV防火衣・ゴアテックス雨衣
ホース洗浄機・乾燥機　屯所用ホース乾燥塔

操法最適
トーハツ小型ポンプ
VC72プロⅢ
大型アルミ２基真空ポンプ付

実感してください！操法大会最適ホース。
ジェットホース。コンペV
NEWアスリート4／NEWアンカー4

第1〜2線用　最適ホース　　第3線用　最適ホース

創業 昭和22年
互光商事株式會社
代表取締役　玉川康介

本　社／紫波郡矢巾町広宮沢11−501−14
☎ 019−639−0505（代）

ONODERA SIGN
ORIGINAL SIGN DESIGNER

株式会社 オノデラサイン

営業品目
のぼり・ミニのぼり・旗・横断幕・懸垂幕
バナー・半纏・のれん・タスキ・ハンカチ
風呂敷・手拭い・ポール・販促用品・POP 用品
ノベルティーグッズ

■本社
〒028-6103　岩手県二戸市石切所字荷渡 7-11
TEL　0195-22-1333　FAX　0195-22-1334

■盛岡営業所
〒020-0045　盛岡市盛岡駅西通 1-5-16
TEL　019-613-6674　FAX　019-613-6675

株式会社古川ポンプ製作所
岩手県一関市山目字中野34-2
TEL0191-25-5221

住宅用警報器の交換時期が近づいておりましたら、お気軽にご相談ください。
消火器の廃棄処分も承っております。※有料です。

消防・防災用品のプロフェッショナル
SHOEI
松栄商事株式会社
消防施設工事業　岩手県知事許可（般-29）第4461号
http://www.shoeishoji.com/

◎本　社／盛岡市天神町13-27　Tel. 019-623-4364
◎二戸営業所／二戸市石切所字荷渡1-9　Tel. 0195-43-4100
◎奥州営業所／奥州市江刺八日町一丁目5-5-2　Tel. 0197-47-3464
◎宮古営業所／宮古市上鼻二丁目3-15　Tel. 0193-65-7080

防災・避難用品インターネットショップ→ しょうえいねっとショップ 検索

株式会社 岩野商会　盛岡市本宮1丁目17番6号　TEL.019-656-4753

消防防災トータルサポート
株式会社
岩手総合商事
代表取締役　橋本 智和
〒029−0132
一関市滝沢字草刈場135−20
TEL:0191−48−4433
FAX:0191−48−4432